

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		55,219	59,608
特定財源	国庫支出金	1,404	628
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		53,815	58,980
人員数(人)	正規職員	0.2	0.1
	嘱託職員	0.9	0.6
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,429.8	714.9
	嘱託職員	2,489.4	1,659.6
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,919.2	2,374.5
市民一人当たりの経費		1.1	1.2
総額		59,138.2	61,982.5

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	363	就学援助システム委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	157	峰の原高原児童生徒通学費負担金
その他	54,699	就学援助費 特別支援教育就学奨励費ほか

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	221	就学援助システム委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	147	峰の原高原児童生徒通学費負担金
その他	59,240	就学援助費 特別支援教育就学奨励費ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	教育の機会均等を図るため、就学援助費及び特別支援教育就学奨励費を支給する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	就学援助費及び特別支援教育就学奨励費を支給することで、経済的負担の軽減を図る。 認定会議を開催し、世帯の状況を考慮する。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	給食費については、給食センターに直接支払いをすることで給食費の滞納を減らす。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

認定会議を開催し、適切な認定を行う。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
教育の機会均等を図るため、必要な事業		子どもの貧困が社会問題となる中、重要な事業	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	